

○各医療機関の2025年に向けた具体的対応方針の変更について

構想区域	名称	1.変更後の「地域において担うべき役割」	2.変更後の「病床機能」					②具体的な変更内容	③年次スケジュール
			①2025年における病床機能ごとの病床数の見込み						
			高度	急性期	回復期	慢性期	合計		
鈴亀	鈴鹿中央総合病院	・変更なし	182	258	20	0	460	・緩和ケア病棟開設により20床を回復期へ変更した。	・2018年11月実施済み。
鈴亀	亀山市立医療センター	・変更なし	0	63	27	0	90	・地域包括ケア病床を現在の19床から27床に増床する。	・2020年4月1日転換予定。
鈴亀	村瀬病院	・変更なし	0	0	118	100	218	①地域一般病棟60床を、病床機能報告で急性期から回復期へ変更。 * 病床機能報告では、地域急性期(急性期～回復期)の選択肢がなく、急性期又は回復期の選択となるため、より機能が近いと思われる回復期とした。今回の報告により当院の担うべき役割に変化が生じるものではない。 ②医療療養病棟40床を回復期から慢性期へ変更。 * こちらも同様で、担うべき役割の変更はない。	・令和元年度の病床機能報告で報告済み。